放送大学

マーク & ロゴタイプ 使用マニュアル

平成18年8月1日作成
令和8年4月1日補綴

ご使用になる前にお読みください。

MAC OS-13.7.6 Illustrator-2025 で作成し、
データはすべてアウトライン済みです。

放送大学のマーク & ロゴタイプを使用する際は
本データを複写し、必要な部分をコピーペーストして使用ください。
ただし、本マニュアルで定めた範囲以外の加工はできません。

本マニュアルに記載されている内容および使用範囲に不明点がある場合は、
放送大学各学習センターまたは
放送大学・総務部広報課(koho_ka@ouj.ac.jp)までご確認ください。

放送大学　マーク&ロゴタイプの使用マニュアルについて

放送大学のマークは大学設立時に下記の意味を込めて、デザイナー永井一正氏によって制作されました。

1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育を受ける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

マークは当初手で描き起こしたものを複写して使用していましたが、近年のデジタル化にあたって複製される際に、原形とバランスの異なるマークが複数作成された経緯があります。また、ロゴタイプについてはマークとの関連を持って制作されたものではなく、公式の書体として制定されていないため、使用規定が定められていませんでした。

マーク&ロゴタイプはいわば組織の旗印であり、組織や機能を伝える際にもっとも基本となるビジュアルです。「信頼」「安心」「成長」「個性」「展望」「発展」など、組織や機能にとって重要な理念や方針が込められており、民間企業や公的機関はもちろん教育機関でも、マーク&ロゴタイプによる視覚的なイメージの統一と差別化（VI=Visual Identity）が重視されています。

VIを実行する上でもっとも大切なことは、マーク&ロゴタイプを取り巻くさまざま環境の中での印象の統一です。「大きいほうがよい」「読めればよい」「違う色がよい」など、その都度の主観が優先されると本来の目的が達成できません。いつでもどのような環境においても同一のイメージで発信し続けるには、基本的な使用規定を定め、実行することが求められます。

本マニュアルでは、これまで蓄積されてきた放送大学マーク&ロゴタイプが持つブランドイメージを尊重しながら構成要素を整理し、最低限の使用規定を定めました。
ここに記された色・形・使用条件に沿ってマーク&ロゴタイプの環境を整備していくことにより、マークに込められた本来の意味がよみがえるとともに、VIの機能を鮮明にすることができます。

本マニュアルは、今後作成される印刷媒体・電波媒体、新設される建物付属表示や看板等から適用しますが、既設の建物付属表示や看板類は対象外とします。
実際の使用時は、規定の範囲内で担当者および外注業者に判断いただくことになりますが、本マニュアルの使用例を参考に、ブランドイメージを損なわないよう配慮ください。

ご不明の点は放送大学総務部広報課までお問い合わせください。

マーク&ロゴタイプの調整

デジタルデータ化して使用されているマーク&ロゴタイプは使用の都度制作されており、正確な形状はデータとして定められていませんでした。形状および色彩を下記の通り定めます。

旧　平成18年6月まで

新　マークは使用開始時（昭和59年）の形状を再現し、ロゴタイプは文字のバランスを調整

カラー　プロセスカラー：マーク C100%+M40%、ロゴタイプ BL100%
　　特色：マーク DIC181、ロゴタイプ スミ

*「プロセスカラー」とは、通常のカラー印刷で使用される基本色（C・M・Y・BL）です。
「特色」とは、特別にインクを練って印刷する場合に指定する色（DIC＝大日本インキ化学のカラー見本）です。

C100%+M40%
DIC181

BL100%
スミ

マーク&ロゴタイプの新旧比較

新·旧のマーク&ロゴタイプを比較すると以下のようになります。(赤いラインは新)

新·旧マーク&ロゴタイプの比較

マーク　　：昭和59年に使用開始された際の形状を再現しています。
ロゴタイプ：基本イメージを変えずに線の太さや構成要素を整えました。
　　懐を大きくとり字間を空け、全体的にゆとりをもたせました。

マークの形状およびロゴタイプの文字バランス等は、本マニュアルの定めたものを忠実に使用してください。

校名ロゴタイプ

校名のロゴタイプは以下の通りです。

「放送大学大学院」「放送大学学園」のロゴタイプは、「放送大学」ロゴタイプに続けて「大学院」「学園」を付けます。
それぞれの使用規定等については、P7以降を参照ください。

マーク&ロゴタイプの組み合わせ [大学]

マーク&ロゴタイプの組み合わせ[大学]は以下の通りです。

それぞれの使用規定等については、P7以降を参照ください。

マークを小さく扱う（校名を大きく表記する場合に選択）

マークを大きく扱う（マークをシンボリックに表記する場合に選択）

センター揃えで扱う（レイアウトに応じて選択）

センター揃えでマークを大きく扱う（マークメインにする場合に選択）

英文を併記する場合

原則として英文は併記しません。やむをえず英文表記を必要とする場合は下記を使用してください。

英文併記

英文カラー：BL50%

加工不可（例）

大きさを変える

位置を変える

加工する

書体や色を変える

英文の位置や書体、その周辺の加工はできません。

英文のみの表記およびアプリケーション（使用例）については、
別冊の「マーク&ロゴタイプ［英文表記］使用マニュアル」を参照ください。

環境による使用の限定

モノクロ(または単色)使用の場合

モノクロ使用の場合のマークカラー：BL50%
単色使用の場合のマークカラー：ロゴタイプカラーのアミ50%（ただし使用色が淡い場合には100%でも可）

使用例

白抜きが可能な地色で単色使用の場合

マーク・ロゴタイプともに白抜き

淡い地色でカラー使用の場合

通常のカラー

濃い地色で単色使用の場合

マークアミ30%・ロゴタイプ白抜き

濃い地色でカラー使用の場合

マークはカラーまたは白抜き・ロゴタイプは白抜き

加工不可(例)

「枠囲み」「縁どり」など、マーク＆ロゴタイプおよびその周辺の加工はできません。

枠囲み

縁取り

マーク・ロゴカラー共にBL100%

枠囲み

縁取り

マーク・ロゴカラー共にBL100%

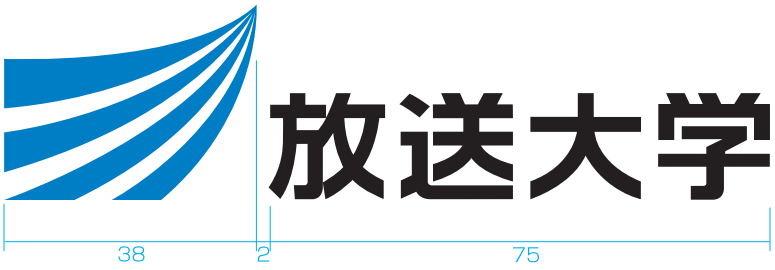
マーク&ロゴタイプの組み合わせ［大学］

マークとロゴタイプの組み合わせは、以下の4種類から使用環境や目的に応じて選択できます。

マークとロゴタイプは必ずセットで使用し、下記4種類以外の組み合わせや加工はできません。

マークを小さく扱う（校名を大きく表記する場合に選択）

マークを大きく扱う（マークをシンボリックに表記する場合に選択）



センター揃えで扱う（レイアウトに応じて選択）

センター揃えでマークを大きく扱う（マークメインにする場合に選択）

加工不可（例）

比率を変える

位置を変える

バランスを変える

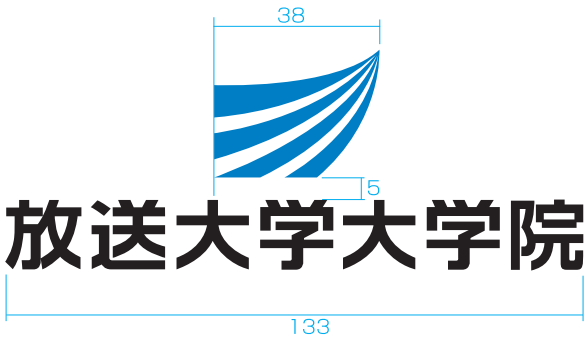
マークとロゴタイプの組み合わせは、以下の4種類から使用環境や目的に応じて選択できます。

マークとロゴタイプは必ずセットで使用し、下記4種類以外の組み合わせや加工はできません。
「加工不可（例）」等については、P8を参照ください。

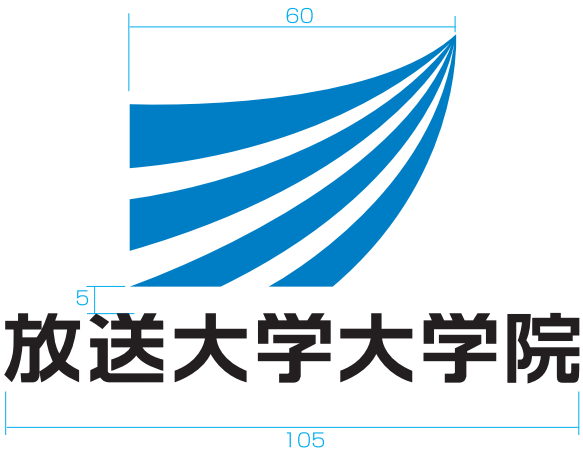
マークを小さく扱う（校名を大きく表記する場合に選択）

マークを大きく扱う（マークをシンボリックに表記する場合に選択）

センター揃えで扱う（レイアウトに応じて選択）



センター揃えでマークを大きく扱う（マークメインにする場合に選択）



マーク&ロゴタイプの組み合わせ［学園］

マークとロゴタイプの組み合わせは、1種類の限定です。

大学名のマーク&ロゴタイプと併記する場合は、大学名のマークはカラー、学園のマークはモノクロで使用します。
P15の「アプリケーション使用例 − 名刺…大学と学園の併記例」を参照ください。

マークとロゴタイプは必ずセットで使用し、下記以外の組み合わせや加工はできません。

マークとロゴタイプの組み合せ

モノクロ使用の場合

モノクロ使用の場合のマークカラー：BL50%

たて組み

マークとロゴタイプの組み合わせは、1種類の限定です。

マークとロゴタイプは必ずセットで使用し、下記以外の組み合わせや加工はできません。

学校名を併記する場合

学部名を併記する場合のレイアウトは、それぞれ下記の2種類から、レイアウトの都合に応じて選択ください。

学部名の文字サイズは、校名ロゴタイプ「学」の文字左右幅に3文字入る大きさです。
学部名の書体：新ゴR正体・字間ベタ
下記以外の組み合わせや加工はできません。

大学の場合

大学院の場合

センター名を併記する場合

センター名を併記する場合は、レイアウトに応じて下記から選択ください。

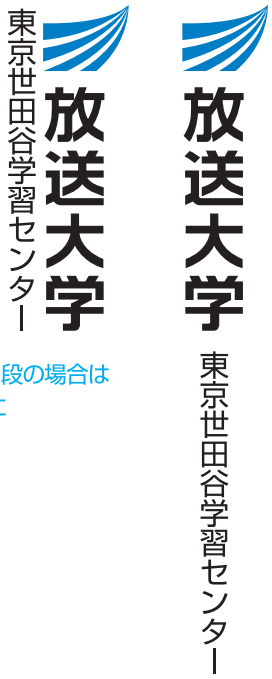
学習センター名の併記

学習センターの文字は「大学」の天地幅の1/2です。
書体：新ゴR正体・字間ベタ

・2段に組む場合は右揃えにします。
・ロゴがセンター揃えの場合はセンターへ入れます。
・たて組の場合もセンター名の大きさは横組みの比率に準じます。

上記以外の加工はできません。

併記例（最長の場合）



＊たて組2段の場合は
下揃えに

＊たて組1行の場合は
左右センター揃えに

加工不可（例）

頭揃え

センター揃え

比率違い

頭揃え

比率違い

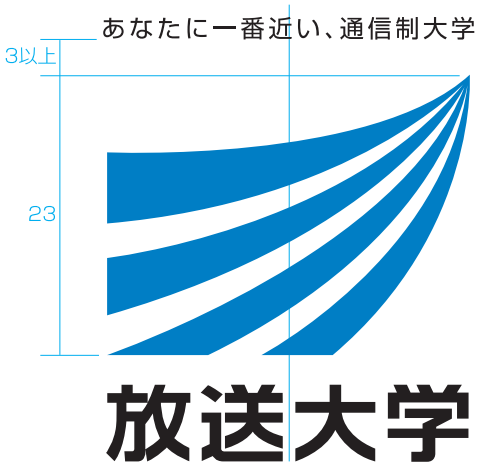
キャッチフレーズを併記する場合

キャッチフレーズを併記する場合は、マーク&ロゴタイプ周辺に下記規定以上の空きをとってください。

頭揃えで併記の場合

上記規定以上空け、書体・大きさは任意です。

センター揃えで併記の場合



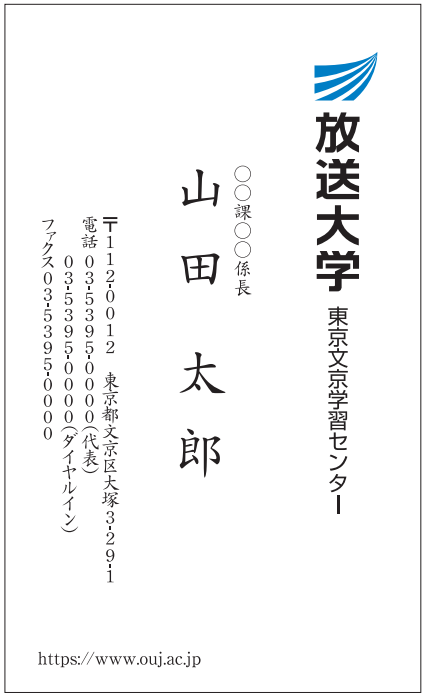
上記規定以上空け、書体・大きさは任意です。

アプリケーション(使用例)-1

キャッチフレーズはこの位置へ。
(たとえば「知識が、人生を変えていく」や
「あなたに一番近い、通信制大学」など)

名刺…大学と学園の併記例

名刺



名刺

名刺

アプリケーションはすべてレイアウト例です。
マーク&ロゴタイプをどのような環境に置いても
同じイメージであることがVIの基本となります。

アプリケーション(使用例)-2

放送大学教養学部
0000年度第0学期 募集要項在中

出願受付期間
0000年0月00日(○)から
0000年0月00日(○)まで[必着]

0月00日(○)から0月00日(○)までに出願票が届いた場合は出願を受付しますが、学期開始の0月0日(○)までに教材をお届けできない場合があります。ご了承ください。

あなたに一番近い、通信制大学

放送大学
教養学部

本部　〒261-8586　千葉市美浜区若葉2-11

角2封筒(65%縮小)

あなたに一番近い、通信制大学

放送大学
千葉学習センター

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

角2封筒(65%縮小)

あなたに一番近い、通信制大学

放送大学
埼玉学習センター

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2
TEL 048-650-0000（代表） FAX 048-650-0000

定形封筒

放送大学

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

定形封筒

放送大学学園

総務部総務課
〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

定形封筒